

宮農情報

(水稻栽培情報 8月号)

第3号 平成24年8月6日発行
福岡大城農業協同組合
南筑後普及指導センター

1 生育概況

育苗～移植は概ね順調に行われました。梅雨がやや長く、多雨と日照不足のため、軟弱徒長気味の生育でした。また、7月13～14日の豪雨で冠水したほ場では、生育停滞が見られました。7月23日の梅雨明け後は好天に恵まれており、生育は回復傾向で、平年並～やや遅い状況です。

2 水管理

- (1) 中干し後は、間断かん水を行います。
- (2) その後穂ばらみ～穂揃期にかけては、最も水分が必要な時期なので水を保ちます。
- (3) 高温障害回避のため、用水が豊富にある場合は、出穂後20日間程度かけ流しを行い、温度を下げましょう。夜温を下げるために、夕方、ほ場の水を入れ替えるのも効果的です。

3 穂肥

穂肥時期の目安と施用量は以下のとおりです。それぞれのほ場で幼穂長や葉色を観察し、穂肥時期や量を決定します。

品種	第1回目穂肥施用時		10a当たり施用量(kg)	
	穂肥時期の目安	幼穂長 (mm)	1回目	2回目
元気つくし	8/6頃	5	15	10
ヒノヒカリ	8/13頃	3～5	20	なし
あきさやか	8/17頃	3～5	20	10
ヒヨクモチ	8/17頃	2～3	25	20

※ 穂肥2回目は、1回目の約1週間後に施します。

4 病害虫防除

現在のところ、ウンカ類の飛来は昨年よりは多く、平年より少ない状況です。遅い時期に飛来があったため、注意が必要です。

① 基本防除は、下表のとおり、益過ぎに行います。

品種	防除時期	薬剤	使用量
全品種	8月16 ～22日	アプロードロムダンモンカットF粉剤DL	4kg/10a
		アプロードロムダンモンカットエアー	750倍

注)ウンカ等への効果を高めるため、防除作業はほ場に水をためた状態で行います。

② 出穂前～出穂期の補正防除は、以下の通りです。

元気つくしで、葉いもちが見られる場合は注意しましょう。

品 種	防除時期	薬 剤 (全品種とも粉・液いずれか)	使用量	
元気つくし	8月16～19日頃	ビームトレモンセレン粉剤DL	4kg/10a	
ヒノヒカリ	8月25～31日頃	ブラシンフロアブル	} または 3剤混用 1000倍	
あきさやか ヒヨクモチ	9月1日～8日頃	トレボン乳剤		2000倍
		モンカットフロアブル		1000倍

注) 液剤を使用する際の散布水量は、10aあたり100リットルです。

農薬の安全使用と飛散防止対策を徹底しましょう!